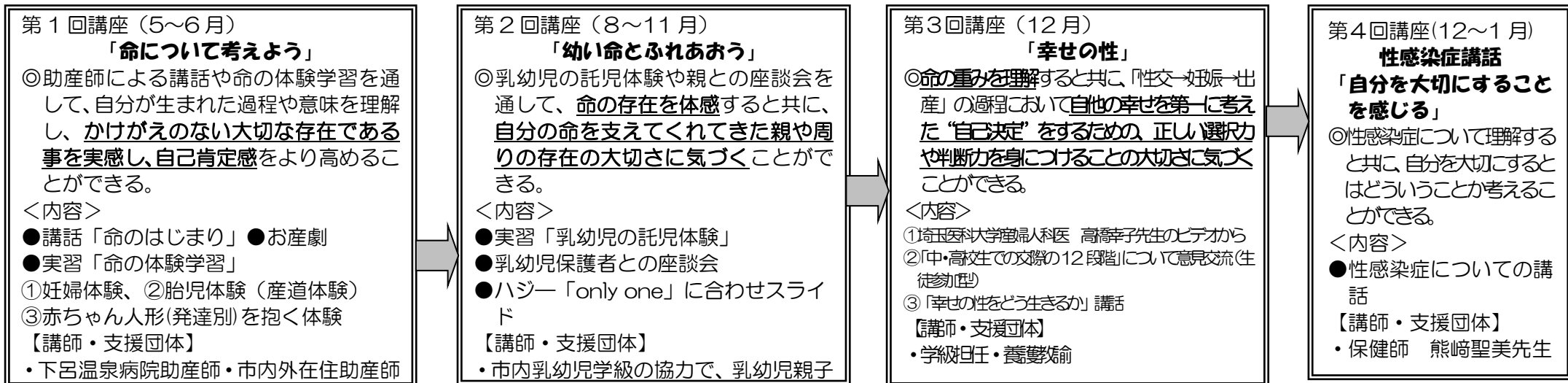


【全体テーマ（講座のねらい）】

自己肯定感を高め、自他の存在（＝命）を大切にできる生徒を育てよう

＜具体的な目指す生徒の姿＞ **対象生徒は中学3年生**

- ◎ 支えられている・助けられていることへの感謝の気持ち（「ありがとう」）が持てる生徒
- ◎ 自分の好きなところや自慢できるところがあり、夢や目標を持って自分らしく前向きに生活できる生徒
- ◎ 性に関する正しい知識や選択力・判断力を身につけ、自他の幸せを考えた自己決定ができる生徒



生徒の意識の流れ

・生命の誕生のすごさを知った。
・自分が生まれたのは奇跡であって、この世界に一人しかいないので、自分の命を大切にしたいし、おなかを痛めて産んでもらって感謝したいし、今まで育ててきてもらったので、この命をしっかりと大切にしていきたいです。
・自分の存在について見直せた。

・お母さんはいつまでも自分の子どもを愛しているんだなあと感じた。
・赤ちゃんを抱っこして思っていたよりも重かった。
・お母さんが抱えている悩みや嬉しかったこと等、生の声が聴けて「子育ては大変なんだ」ということがわかりました。

・これからいつになるかわからないけど、本当に信頼できる人と会って温かい家庭を築いていきたい。自己判断を間違えると自分だけでなく相手も傷つけてしまうので、しっかりと自己判断をしたい。
・性感染症の話も聞いて、大人になった時にも思い出していきたい。

特別支援学級の性教育（中学校）※主に知的学級

第1回 「心と体の成長（性徴）」 第2回 「タッチのルール」 第3回 「好きな人とのすてきな関係」
・養護教諭と担任によるTTの授業（助言者：渡辺武子先生） ※1年に1回ずつ

中学1or2年生 「性の多様性」

◎性の多様性について知ることを通して、みんなそれぞれ違って良いことや、自分らしく生きることの大切さに気づくことができる。＜内容＞講話

【学校との連携】…各校養護教諭や学級担任及び市養教部会(小中学校部会)との協働推進体制

- 各校生徒の実態に応じて、学習内容の弾力性を持たせる
- 日常の教育相談における生徒のケア
(講座の学習内容(点)を生かして、自己肯定感を深め、自己決定ができる生徒の育成へ→点から線へのつながり・支援)
- 教科の学習内容や道徳の授業との関連性を持たせた意図的な指導・支援を行う

小学5年生 「生命誕生」

◎受精の仕組みや生命誕生の神秘性に触れることや、出生について家族の思いを知ることにより、自他の生命を大切にしようとする意識や態度を身につける。
＜内容＞講話・体験等【講師】助産師

【保護者・地域との連携】

- 各講座(特に第1回講座での出産時の親の想いを語る場、出産劇での父親出演、産道体験補助など)への参観(広報・呼びかけ)
- 「いのちのふれあい講座」通信の発行(学習内容の周知・共通理解)
- 助産師による、保護者向け「いのちの教育」講座の実施の計画

※各講座における支援団体の協力

- ◆各中学校 PTA・母親委員会 ◆下呂温泉病院及び市内外在住助産師 ◆市内乳幼児・幼児学級
- ◆下呂市いのちのふれあい講座サポートスタッフ